

## 4節 成長産業化を支える漁村の基盤強化

### 1 災害に強い漁村と安全対策の推進

近年、台風等が激甚化し南海トラフ地震の発生も懸念される中、生産・流通の重要な基盤である漁港施設の強靱化を図るとともに、操業の安全を確保していく必要があります。

このため、漁港施設や海岸保全施設の地震津波対策を強化するとともに、操業の安全を確保する漁業無線等の体制を維持することにより、漁村地域の防災・安全対策を推進します。

#### ① 漁港の防災・減災対策の強化

##### (1) 施設整備による地震・津波対策の推進

###### ア 漁港施設の地震・津波対策

災害時の漁港施設の被害を最小限に抑え、生産活動の早期かつ安定した再開を図るため、防波堤や岸壁の強化に粘り強い構造を付加したハード対策に加えて、BCP（事業継続計画）を適切に運用したソフト対策による地震・津波対策を推進します。

###### イ 海岸保全施設の地震・津波対策

漁村に暮らす人々の人命及び財産を守るため、防波堤と海岸防潮堤を組み合わせた多重防護による地震・津波対策を推進します。

#### ② 操業の安全確保

##### (1) 漁業無線局の機能維持

###### ア 無線局機能の維持

操業の安全を確保するため、老朽化している施設の定期的な更新を図るなど油津漁業無線局の機能を維持します。また、漁協が運営する超短波漁業無線局の業務を補完するため、油津漁業無線局による24時間聴取体制の維持を支援します。

###### イ 安全操業のための情報提供への支援

洋上での操業の安全性向上を図るため、油津漁業無線局による操業海域の気象・漁況情報等の定時情報の提供を支援します。

##### (2) 海難事故防止対策の充実

###### ア 漁船救助支援システムの活用

海難事故の被害軽減を図るため、漁船からの転落情報を油津漁業無線局が瞬時に把握し、海中転落者の救助を迅速に行うための漁船救助支援システムを有効に活用します。

###### イ 海難事故防止の普及・啓発

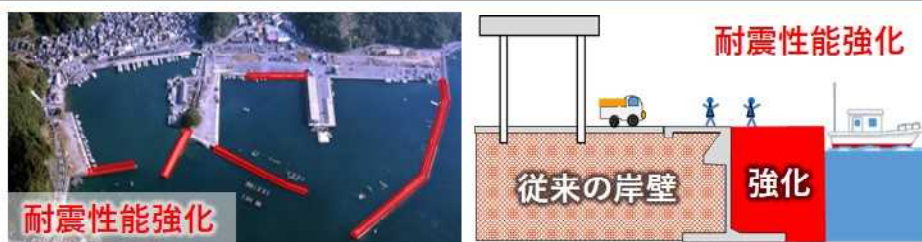
海難事故を防止するため、海上保安庁、系統団体等関係機関と連携し、漁船の安全機器・器具・救命胴衣の着用促進、研修会の開催等により、普及・啓発を図ります。

###### ウ 漁船保険制度の普及・啓発

海難等、不慮の事故による漁業者の負担軽減のため、漁船保険への加入を促進します。

〈災害に強い漁村と安全対策の推進の展開イメージ〉

### 漁港の防災・減災対策の強化



### 海岸保全施設の防災・減災対策の強化



### 〈数値目標〉5年後の目標

指標	単位	R元(基準)	R7(目標)
地震・津波対策完了漁港	漁港	1	6

## 2 漁協と生産・流通の基盤強化

水産業の成長産業化を実現するためには生産・流通の強化が欠かせません。このような中、漁業生産を担う漁業者の協同組織であり、産地市場を開設する漁協の役割が重要となりますが、組合員の減少や事業収支の悪化などの課題を抱えています。

このため、漁協系統組織の機能・基盤強化を更に促進するとともに、生産・流通の拠点化や水産物の付加価値向上及び輸出の推進に欠かせない高度衛生管理対策等による機能強化を促進し、生産・流通基盤の強化を図ります。

### ① 漁業の成長を支える漁協の機能・基盤強化

#### (1) 漁協の機能・基盤強化の促進

##### ア 合理的な事業運営への意識醸成

漁協系統組織の合理的な運営体制を構築するため、「宮崎県内漁業協同組合及び系統組織機能・基盤強化推進方針」及び同アクションプランに基づき組織・運営体制の適正化と経済事業の合理的な事業運営に向けた意識醸成を促進します。

イ 合理的な組織改革の推進

漁協系統組織の機能・基盤強化の更なる推進を図るため、漁協系統組織と連携し、県一漁協の検討も含めた合理的な組織づくりを促進します。

(2) 漁協運営の適正化と経営改善指導

ア 常例検査による指導強化

漁協経営の健全化を図るため、常例検査において部門別経理の実施を指導し、漁協による自主的な不採算・不要施設の見直し・検証の着実な実行を指導します。

イ 漁協への経営指導の強化

漁協経営の健全化を図るため、関係団体との連携を強化し、経営指導県委員会やJFマリンバンク県本部委員会等において、経営改善計画の進捗管理等の指導を強化します。

② 生産・流通基盤の強化による水産業の成長促進

(1) 生産・流通拠点の機能強化

ア 主要漁業の生産・流通の拠点化

漁村経済の活性化や水産業の成長産業化の中心的役割を担うかつお・まぐろ漁業やまき網漁業の成長を実現するため、これら主要漁業に関する生産・流通の拠点化や機能強化を推進します。

イ 漁港の高度衛生管理対策の推進

水産物の輸出促進や国際競争力の強化を図るため、荷さばき施設の衛生管理対策の高度化などによる漁港の機能強化を推進するとともに、市場開設者を中心とした高度衛生管理体制の構築を促進します。

(2) 共同利用施設の基盤強化

ア 地域ニーズに応じた生産・流通基盤の強化

地域の実情に応じた生産・流通基盤の強化を図るため、地域が策定した浜プランに基づく共同利用施設の整備等を促進します。

〈漁協と生産・流通の基盤強化の展開イメージ〉



## <数値目標>5年後の目標

指 標	単位	R元(基準)	R7(目標)
漁協合併の推進協議会等に参画する漁協	漁協	4	20
新たな生産・流通基盤強化の施設	施設	—	5

### 3 漁村・内水面の多面的機能の発揮促進

漁村・内水面は安全で新鮮な水産物を安定的に提供する役割に加え、休養・交流・教育の場を提供するなど様々な多面的機能を担っていますが、人口減少・高齢化や担い手不足により、漁村・内水面の機能が十分に発揮できない状況が危惧されます。

このため、漁港施設の老朽化対策など漁村地域の機能保全を図るとともに、地域主体の魅力あふれる漁村づくりや県民が内水面に親しむ取組を促進します。

#### ① 漁村地域の機能保全

##### (1) 漁港施設等の適切な保全

###### ア 漁港施設等の計画的な老朽化対策の推進

漁港施設の長寿命化を図るため、機能保全計画に基づく漁港施設の計画的な維持・補修及び更新工事を推進し、更新コストの平準化・縮減を図ります。

###### イ 航路・泊地の安全確保対策

漁業者が安心して漁業活動ができるよう、漁港内の航路・泊地を維持するため、浚渫を行うなど安全確保対策を推進します。

###### ウ プレジャーボート対策・放置艇対策の推進

漁港におけるプレジャーボート等の適正管理のため、漁船とプレジャーボートの漁港施設の利用調整を図るとともに、漁港におけるプレジャーボートの放置等禁止区域の設定や許可制の導入に取り組み、美しい宮崎の港づくりを推進します。

##### (2) 漁村生活施設等の適切な保全

###### ア 生活排水処理施設の適切な維持・更新の支援

漁業集落の生活環境の維持と快適性の確保のため、生活排水処理施設の適切な保全等を促進します。

###### イ 環境施設の適切な保全・管理

漁村の環境向上、景観の保全など快適で潤いのある漁村環境を形成するため、緑地公園などの環境施設の適切な保全・管理を推進します。

## ② 魅力にあふれた漁村・内水面づくり

### (1) 魅力にあふれ稼げる漁村づくり

#### ア 漁村・内水面の資源を活かし稼ぐ取組の推進

漁村・内水面の魅力向上や「漁村・内水面で稼ぐ」を図るため、地域が主体となって多様な資源を有効に活用し、消費者に地魚や漁村・内水面の魅力を届ける取組や他産業と連携した「人を呼び込む拠点づくり」に貢献する取組を促進します。

#### イ 直売所等を核とした漁村の活性化

地魚や加工品を活かした漁村の魅力向上を図るため、漁協直売所・レストランを核とした、消費者へ漁村の豊かな水産物を提供する取組を促進します。

#### ウ 漁村女性の活動促進

女性の活躍による漁村の魅力向上を図るため、漁協女性部・加工グループが行う新商品開発や魚料理教室の活動など、消費者への魚食普及の取組を支援します。

#### エ 交流人口等を拡大する情報発信

交流人口や漁村の活性化を協働する関係人口を拡大するため、渚泊や漁業体験など漁村を直に体験してもらう取組とともに、漁村の魅力を戦略的・積極的に情報発信する取組を促進し、みやぎきの魚シンパの拡大を図ります。

#### オ 稼げる漁村・内水面づくりの推進

漁村・内水面の実情に合わせた地域主導による漁業所得向上を図るため、各地域が策定した「浜の活力再生プラン」に基づく取組を推進します。

### (2) 県民が親しむみやぎきの魚・浜・水辺づくり

#### ア 水産物の食育推進

水産物に対する興味や理解を深めるため、魚の市場見学や料理教室等の体験活動の実施や、学校給食への地元水産物の活用等を促進します。

#### イ 水産物の地産地消の推進

水産物の地域循環を図るため、本県で水揚げされる魚や料理法の紹介、取扱店等についての情報提供、イベント等を通して、県民に対する地魚のPR及び地産地消を促進します。

#### ウ 水辺に親しむ取組の推進

県民に内水面の魅力を届けるため、内水面の資源及び養殖業についての情報発信をはじめ、体験放流や釣り教室、河川清掃など、県民が水辺に親しむための活動を推進します。

地域主体の魅力ある漁村・内水面づくり

地域の多様な資源

鮮魚でも美味しい

さらに

女性加工グループ

魅力ある加工品

魅力あるご当地グルメ

直売所・レストラン

観光等の他産業との連携

魅力にあふれ稼げる漁村と親しみの増す内水面

学校給食

釣り教室

体験漁業

料理教室

地魚PR

〈数値目標〉5年後の目標

指 標	単位	R元(基準)	R7(目標)
老朽化対策済の漁港施設	施設	48	66
浜プランによる漁村の漁業所得の向上率	%	100	110